

2026 年 7 月 30 日

高知工場石炭火力 3 号発電設備の休止に関する検討開始について

住友大阪セメント株式会社（本社：東京都港区、社長：諸橋央典）は、高知工場（所在地：高知県須崎市、工場長：佐々木雅彦）にて稼働中の石炭火力発電設備 2 基のうち 1 基を 2027 年 3 月 31 日に休止する方向で検討を始めましたのでお知らせします。

現在、高知工場には 2 基の石炭火力発電設備（それぞれ 2 号発電設備、3 号発電設備と呼称）が稼働しており、主にセメント製造に必要な電力を供給するとともに、地域への電力供給の拠点としても活用しています。また、当社のカーボンニュートラルビジョンのもと、バイオマス燃料等の更なる活用により、国レベルで進められている非効率石炭火力発電フェードアウト政策にも対応するべく対策を進めてきました。

しかしながら、エネルギー調達環境がますます不透明感を増し、中長期的に石炭火力発電コストの更なる上昇が避けられないことも想定されるなか、3 号発電設備を休止し、発電設備を 1 基に集約する方向で慎重に検討を進めることとしました。

休止による影響等につきましては、正式決定後に改めてお知らせします。

【高知発電所 3 号発電設備の概要】

稼働開始	2005 年 4 月
発電種類	石炭火力発電所（バイオマス混焼）
発電出力	61,500kW

【本件に関する問い合わせ先】

住友大阪セメント株式会社 企画部 TEL 03-6370-2725

